

月 日

名前()

【ねらい・めあて・課題について】

- ねらい・・・教師が子どもに身につけさせたい力 ○めあて・・・「ねらい」を子どもたちの立場で示したもの
- 課題・・・その時間に解決すべきことから(なぜ、～なのか等、疑問の形) ○まとめ・・・本時の課題に対する答え

【評価の仕方】 3 2 点満点

■いつもできている(4点) ○だいたいできている(3点) ○あまりできていない(2点) ○いつもできていない(1点)

振 り 返 り の 視 点		自己評価
1	「めあて」や「課題」、「まとめ」や「ふりかえり」を授業に位置付けていたか？ ・見通しを持って、追究すべき事柄を明確にしためあて・課題を提示する。 ・学びの成果を実感させるまとめ・ふりかえりを行う。	
2	ねらいや活動を絞っていたか？(焦点化) ・つけたい力を絞って指導する。 ・教材を教材化する。(必要な内容をピックアップし、全員が考える材料にする。)	
3	一人の考えのよさが他の子たちに伝わるように仕組んでいたか？(共有化) ・ペア、グループ活動を取り入れる。 ・子どもの発言をつなげていく。	
4	個々の考えを深まらせていたか？ ・発表(音声言語)と記述(文字言語)による考えの深まりを価値づける。 ・話し合い活動後に再度自分の考えを振り返る場を持つ。	
5	板書の構造化ができていたか？ ・思考の過程を振り返ることのできる板書を行う。	
6	必要な個別の支援を準備していたか？ ・個別に支援を要する児童への手立てを工夫する。	
7	生徒指導の3機能を意識した問題解決的な授業展開を行っていたか？ ・自己決定、自己存在感、共感的な人間関係を育む場を意識して指導する。	
8	【目標管理シートの授業改善取組内容】 ○	
合計 (各項目3点以上を目標とする)		
一言反省		